Vol.69 Summer

SAKUYO GAKUEN NEWS

# 作陽学園報

くらしき作陽大学／作陽音楽短期大学
岡山県作陽高等学校／くらしき作陽大学附属認定こども園

50th 芸術・文化・感謝のこころ Kurashiki Sakuyo University

## くらしき作陽大学が創立50周年を迎えます

昭和41年4月に岡山県津山市に創立された作陽学園大学は、二年後に作陽音楽大学に改称。平成９年にくらしき作陽大学と名を変え、今年創立50周年を迎えます。

■「410名の新たな一歩」入学式、「G7倉敷教育大臣会合」に本学学生が出演協力……２頁
■「創立50周年を迎えた大学は今」…… ３頁
学校法人作陽学園
理事長　松田英毅
■「くらしき作陽大学創立50周年記念事業の概要について」…４～５頁
■「チーム作陽」…… ６頁
副学長　吉田一成
■「創立50周年 思い新たなスタートを」…６頁
音楽学部長
大学院音楽研究科長　竹内京子
■「食文化を創造し、食のプロを養成する食文化学部」……７頁
食文化学部長　宮本　拓
■「公立に強い『作陽ブランド』の躍進」……７頁
子ども教育学部長　高橋香代
■「音楽にふれあい『五感を磨き』プロの世界に飛躍」…… ８頁
作陽音楽短期大学
音楽学科長　菅付章宏
■「明るく、やさしく、たくましい作陽っ子を目指して」……８頁
くらしき作陽大学附属認定こども園
副園長　妹島三絵
■「岡山県作陽高等学校」
……９～10頁
■新任教員のご紹介、退職・退任された教員のご紹介
……11頁
■鶴声会だより・翠会だより・作陽高校同窓会だより…12頁
■学生募集について…13頁
■平成27年度決算について
……14頁
■演奏会・公開講座のご案内……15頁

発行所
学校法人作陽学園
岡山県倉敷市玉島長尾3515　TEL.086・523・0888（代）

# 410名の新たな一歩

桜の見頃を迎えたキャンパスで４月３日、平成28年度 くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学・大学院の入学式が執り行われ、総勢410名の新入生を迎えました。

松田英毅学長による式辞の後、新入生を代表し音楽学部音楽学科の中本千裕さん（岡山県出身）が、人格の向上と学術の研修に精励することを宣言しました。

# 「G7倉敷教育大臣会合」に本学学生が出演協力

５月14日・15日、倉敷市で開催された「2016年伊勢志摩サミット関係閣僚会合G7倉敷教育大臣会合」において、参加国代表団の皆様へのおもてなしの一環として、本学学生が演奏出演しました。

▲５月13日㈮ 於：倉敷国際ホテル
「G７倉敷教育大臣会合」歓迎レセプションでのウェルカム演奏＆アトラクション演奏

▶５月14日㈯ 於：倉敷美観地区内「倉敷館」
「G７倉敷教育大臣会合開催記念
倉敷館Specialコンサート」

# 創立50周年を迎えた大学は今

理事長
松田英毅（まつだひでき）

昭和41年に岡山県津山市に創立された作陽学園大学は、二年後に作陽音楽大学となり、平成９年にくらしき作陽大学と名を変え、今年創立50周年を迎える。作陽音楽大学時代は、岡山県をはじめ中国、四国、九州の各県を主として全国から音楽家、音楽教員を目指す多くの優能な学生が集まってきた。創立当初は、教師と学生が新しい大学を創ることに情熱を燃やす日々が続いた。大学の草創期を中・長期計画を立て着実に発展に導いたのが堤温音楽教育部長であった。プリマドンナとして活躍した大谷冽子教授始め三枝喜美子、戸田政子といったベテランの教授陣及び、多くの若い教師が学生達と夜遅くまで音楽談義に花を咲かせた。そのエネルギーが作陽大学の土台を造ったといえる。多くの学生は、オーケストラをはじめプロの演奏家、中学、高校の音楽教員、幼稚園教諭、あるいはレスナーを目指し、それぞれ目標に向ってひたすらその道に精進した。

昭和50年代に入ると、日本は将来少子高齢化社会となり、大きく様変わりすることがいわれ始め、地方の私学は厳しくなると予想された。ちょうどその頃、学生の考えも変わりはじめた。親から仕送りはあるが、経済的に自立したい。そのためにアルバイト先が少ない津山から都会志向へと変わっていった。少子高齢化のこともあり、いよいよ大都市へ進出すべきとの考えに到り、岡山市矢津に将来、大学、短大とも移転する計画で昭和62年に短大情報処理学科を設置した。情報処理学科は、当時社会のニーズが高く、入学試験は７倍の狭き門であった。この土地はJR山陽線東岡山駅から約４キロメートル北に位置した山を入った所にあり、交通は不便であった。

平成になってから倉敷市から作陽音大を誘致したいとの申入れがあり、交通至便なこと、芸術文化の香り高い街であることから喜んで応じた。平成８年に音大と短大音楽科が倉敷に移転をした。音大は創立30年の節目に当り、卒業生の想い出が一杯つまった津山を去るのは忍びがたいものがあったが、特に世話になった大学周辺の市民から、「これまで作陽は私たちが育ててきた。それが南に出たいというのであれば南で一層発展してください」との親離れのわが子を励ますような言葉をもらい移転の決心がついた。

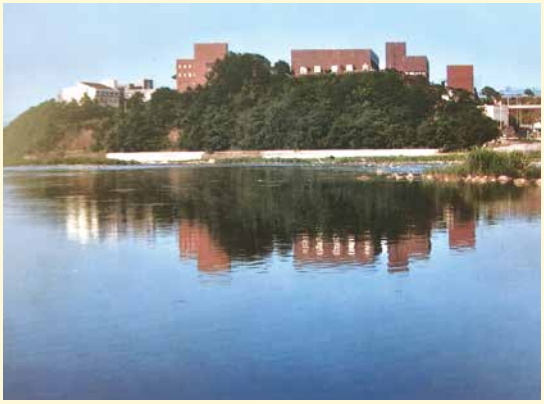
一つの大学が移転するには多くの苦難を伴うものだ。その苦難を引き受け準備をされたのが倉敷市役所の大規模プロジェクトの方々と地域住民の方々であった。その結果、現在の交通至便な地に見事なキャンパスがつくられた。移転して約20年の間に学生たちも市民の期待に応え学業に励み、作陽精神を体し、地域貢献活動に真剣に取り組み出していることは喜ばしい限りである。

今年３月に実施された管理栄養士の国家資格試験の結果、本学は80名が受験し79名合格、合格率98.8％で国公私立の管理栄養士養成課程の大学約130校中６位の成績であった。昨年は100％で全国１位であったから、確実に全国上位の力をつけてきたと思われる。又、子ども教育学部の今春の卒業生は、公立の小学校、特別支援学校、幼稚園、保育所の採用試験合格者が計36名であった。就職希望者の実に42％が公立学校に合格したのであった。この合格率は同様の教員養成課程をもつ県内の大学の中でも特にすぐれた成績であると推測される。又、同学部の特別支援教育ラボは、これから社会が最も必要とする障害児支援のためのラボであり、学生、教員、障害児と保護者、支援機関の人たちが一体となり、遊び、療育を通し、学習、研究し、障害児支援教育の向上をはかっている。そこには、毎回熱いものがあふれ、他に例を見ないような教育、研究、社会貢献がなされている。音楽学部関係の昨年の公立学校の合格者は既卒者を主に13名であった。さらに、中心街での倉敷館コンサート、小学、中学、高校での出前授業やコンサートなどで聴衆に大きな感動を与えている。このように、大学の優れた指導陣のもと学生のがんばりは、今、目をみはるものがある。

本学は開学以来、入学してくる学生は、高校時代を勉学と部活動に汗を流し謳歌した純朴な学生たちが多い。そんな学生たちが「念願は人格を決定す　継続は力なり」の言葉のもとに師と目標を一つに精進し続けることでこのような成果をあげているのである。本学の本当の目標は、これら成果を出すにとどまらず、社会人となりそれぞれの専門職につき、よろこんで人の役立つ人になり、世の為、人の為に尽くし歓喜と感謝の人生を全うする人間教育である。いわゆる菩薩道を歩むことである。多くの卒業生は社会人となり社会に貢献し、家族とともに喜びに満ちたいきいきとした人生を送っており、創立者松田藤子先生もさぞかし喜ばれていることと思う。

# くらしき作陽大学創立50周年記念事業の概要について

くらしき作陽大学は、作陽学園創立者松田藤子が感性豊かな音楽人の養成を目的として昭和41（1966）年4月に「作陽学園大学」を創立（2年後に「作陽音楽大学」に改称）、本年で50周年を迎えます。この間、平成8（1996）年にキャンパスが津山市から倉敷市に移転し、更に翌9年には食文化学部を開設し「くらしき作陽大学」に改称したほか、20（2008）年には子ども教育学部を開設、3学部を擁する総合大学として今日に至っております。これはひとえに地域の皆さまや卒業生をはじめとする学園関係者のご支援ご協力の賜物であります。



旧作陽音楽大学

くらしき作陽大学

本学は、モスクワ音楽院をはじめとする内外の著名な教師陣による教育指導環境を整えて、音楽教育界など日本の音楽文化の発展に有為な人材を輩出しております。また、食文化学や子ども教育学の分野では、管理栄養士や幼児教育者など我が国社会の発展に有為な人材の育成に努めております。

また、本学は数々の地域貢献活動を行ってきており、市民の方々からは今でも「音大」の愛称で呼ばれ、演奏会や公開講座には市民の積極的な参加がみられます。今や倉敷市を中心とした県南地域の方々に真に愛され信頼され期待される大学に成長しております。

本学では、節目となる創立50周年を記念して、次のような記念事業を企画しております（一部はすでに周年行事として実施しております）。

## 1．くらしき作陽大学創立50周年記念公開講座

平成27年11月28日（土）13:00　会場　聖徳殿

「遺伝子をONにして可能性を伸ばす」　講師　村上和雄（分子生物学者）

平成28年2月13日（土）13:00　会場　聖徳殿

「生態系と人間のつながり」　講師　安田喜憲（環境科学者）

平成28年4月9日（土）13:00　会場　聖徳殿

「今、子どもたちは…夜回り先生、いのちの授業」　講師　水谷修（教育家）

平成28年6月18日（土）13:00　会場　藤花楽堂

「愛をはぐくむ」　講師　渡辺和子（ノートルダム清心学園理事長）

平成28年9月24日（土）13:00　会場　聖徳殿

「新たな看取り文化の創造を考える」　講師　石飛幸三（医師）

### 2．くらしき作陽大学創立 50 周年記念式典及び記念公演

平成 28 年 10 月 17 日（月）

記念式典　13:30　会場　聖徳殿

日本伝統芸能記念公演　15:00　会場　藤花楽堂

「狂言」　演者　野村万作（人間国宝）、野村萬斎　　演目未定

### 3．学校法人作陽学園ロゴマークの制定

創立 50 周年を記念して、創立以来の大学の学風である「芸術・文化・感謝のこころ」をイメージした作陽学園ロゴマークを制作し制定する。

### 4．３学部による 50 周年記念事業

□音楽学部

「創立 50 周年記念㊿リレーコンサート」（6 月 22 日（水）モスクワ音楽院特別演奏コース前期学内公開演奏会Ⅱからスタート）として記念の演奏会を年 50 回開催する。

□食文化学部

「記念『食文化を創造』さくようヘルスケアレストラン」を開設（6 月 2 日(木)）し、地域の方々をお招きして、食事と健康のヘルスチェック、ヘルスセミナー、ヘルスケアレストランを年 4 回開催する。

□子ども教育学部

「記念 特別支援教育ラボ（演習施設）」を開設（5 月 25 日(水）見学会と講演）するほか、学生企画委員会による「記念キッズキャンパス」を開催（10 月）する。

### 5．くらしき作陽大学創立 50 周年記念誌の発刊

平成 28 年 12 月 16 日(金）発刊・配付

記念誌の仕様：並み製本、A 4 版、100 頁。

## ■記念事業への寄付金の募集

くらしき作陽大学創立 50 周年記念事業を対象とする寄付金を募集いたします。つきましては、皆様には本学の記念事業に格段の御理解をいただきご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- **募集対象者**　同窓生（大学・短大）、在学生、保護者の方々、教職員（大学・短大。退職者を含む）、関係事業所など。
- **募集目標額**　5,000 万円
- **寄付金額**　個人　一口当たり 2,000 円
  企業・法人　五口（10,000 円）以上

※クレジットカードでの決済も可能です。ご希望の方は大学ホームページよりアクセスください。
(http://www.ksu.ac.jp/　8月から利用可能予定)

**＜お問合せ先＞**

〒 710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾 3515　くらしき作陽大学内

大学創立 50 周年記念事業寄付金実行委員会　電話 086-436-0248（担当：佐藤）

# チーム作陽

副学長
吉田一成（よしだ いっせい）

大学創立50周年を迎えた作陽は今、「協働する力」を増しつつあります。

5月13日に開催された「G7倉敷教育大臣会合」の歓迎レセプションでは、在学生・卒業生で編成された弦楽四重奏団が各国の閣僚諸氏からも熱い称賛を受けました。翌日に「倉敷館」で開催されたミニコンサートでは声楽・邦楽・管楽の各チームが美観地区を訪れたサミット関係者に端正な音色を届けました。

5月25日には、子ども教育学部に「特別支援教育ラボ」が開設され、「地域とともに学ぶ」をテーマに記念講演会と交流会が開かれて、遠来の岡山県教委や倉敷市の教育・福祉関係者、さらには障がいのあるお子さんの保護者からも高い評価と期待を寄せられました。

6月2日、食文化学部では「食文化を創造」をテーマに食育活動による健康増進に寄与する目的で地域の方々をお招きして「ヘルスセミナー」「ヘルスケアレストラン」が開かれました。この日の食卓には電子オルガンの演奏も花を添え、食事を楽しむ方々の笑顔の花も咲きました。

従来、これらの事業は音楽・食文化・子ども教育の各学部が単独で企画・運営してきましたが、最近では「学部横断的」に開催されるようになってきました。各事業には、主体となる学部の教員や学生だけでなく、他の学部の教員や学生・事務職員も参画して、「全学的な共同体」として魅力や成果をもたらそうとする気運が高まってきています。こうした気運は学内にとどまらず、倉敷市や総社市あるいは学校や美術館との連携にも波及してきており、近隣の音楽人や食品スーパー、教師や保護者を交えた協働チームとして活動する状況を産んでいます。

このチーム力は学生支援にもあらわれています。希望職種に向けた特別指導、家庭の経済事情に対応する修学支援、対人関係や適応の課題に即応するための支援システムなど、個別の実態に具体的に応じるために、教職員が協働して当たるネットワークやプロジェクトチームの機能です。学生のアドバイザーを担当する教員は、面談やメール・電話等のやり取りを通じて実態を共感的に把握し、必要に応じて他の教職員や保護者と相談するなかで、支援に当たります。こうしたチームとしての機能が教員採用試験や国家試験の高い合格率にも結びついています。

一人ひとりの「思い」や「願い」を互いに感じ取り、理解し、尊重し合う、そして次なる活動に結びつける、そんな学生・教職員・保護者・同窓生が協働するチームワークが作陽に定着しつつあります。

# 創立50周年　思い新たなスタートを

音楽学部長
大学院音楽研究科長
竹内京子（たけうち きょうこ）

皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。

卒業生のみなさま、保護者のみなさまの大きく温かなご支援によって支えられ、大学創立50周年の記念の年を迎えることができました。音楽学部、大学院を代表いたしまして、心より厚く御礼を申し上げます。

教員採用試験の現役合格者の出現や各種音楽隊への就職等、採用枠が僅少である中、学生たちは健闘し見事な実績を上げてくれています。18歳人口が減少する中、受験生が増加しているのも、このような学生、卒業生の力によるものと、私どもは慶びに満ちた節目の年を迎えております。

吉田副学長も書かれているとおり、今年5月に開催されたG7サミット倉敷教育大臣会合での本学卒業生、学生の活躍は目覚ましく各方面から高い評価をいただきました。

学外で学生達が臆することなく演奏活動ができ、地域社会へ音楽を通した貢献ができるように、COC（地（知）の拠点整備事業）が立ち上げた『音楽貢献実践』等の授業内での日々の取組が基盤になり、高い水準の演奏とMCの提供が可能になったものと受け止めております。そしてこの度世界へ発信することもできたことは、若き音楽家たちにとって大変価値のある自信につながったのではないかと考えます。

学内では、1月の宮川彬良氏、5月のガボール・タルケヴィ氏に続き、9月20日開催予定の名実共に世界が認める最高峰のフルート奏者デニス・ブリアコフ氏のフルート・リサイタルが、学生達の感性にどんな化学変化をもたらし、影響を及ぼしてくれるか、大きな期待を寄せております。

演奏会案内リーフレットに記しておりますように、今年は50周年記念㊿リレーコンサートとして各演奏会が次の演奏会へとバトンを渡してまいります。先生方の研究の深まりをゆったりと鑑賞し、学生たちが、日々の精進の成果を披露するために、専攻や学年の垣根を越えて熱演する姿をワクワクしながらご覧いただき、ご声援を賜りましたら幸いでございます。

学生たちが熱い思いを胸に社会に飛び立てるその日のために、計画を立てて実践し、振り返り、次の機会への対策を立てて進むこと、それを授業・課外を問わず、ありとあらゆる方向から応援する姿勢・体制で、教職員一丸となって節目のスタートを切りたいと考えております。今年も変わらぬご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

# 食文化を創造し、食のプロを養成する食文化学部

食文化学部長
**宮本　拓**（みやもと　たく）

くらしき作陽大学食文化学部は栄養学科と現代食文化学科から成り、豊かな人間性と確かな専門性を備えた管理栄養士、栄養士、栄養教諭、家庭科教員およびフードコーディネーターの養成を目指し、教育・研究を通じて地域社会に貢献するよう努めています。また、「食」を通じて地域の食文化の発展に寄与する食のプロを養成することを究極の目標としています。

この一年間を振り返り、主な教育と研究に関することを紹介します。

まず、地域と連携した実践力の育成および地域貢献活動の一環として、大型スーパーマーケットとコラボして「さくようヘルスケアレストラン」のメニューを一般市民に公開し、健康増進・生活習慣病予防に対する啓発活動をしています。そのメニューはＴＶでも放映され、最近、それらの全 36 メニューを掲載したレシピ本が発刊（平成 28 年 3 月 31 日）されました。

また、今年度は大学創立 50 周年を迎え、その記念企画として、食文化学部主催のイベント「食文化を創造」を年 4 回（H28.6.2：水無月、H28.7.7：七夕、H28.10.27：ハロウィン、H28.12.22：クリスマス）開催する予定です。このイベントでは地域の方々をお招きし、セミナーと共に美味しく健康的な食事を提供する運びとなりました。

最後になりますが、平成 28 年 3 月に実施された第 30 回管理栄養士国家試験の合格発表が 5 月 10 日にありました。本大学の結果は、80 名の受験者で 79 名の合格者（合格率 98.8％）でした。全国平均 85.1％で、全国レベルでは 132 大学中 6 位でした。昨年度（合格者 76 名、合格率 100％）に引き続き、全国トップクラスの合格実績を達成しました。合格者の皆さんや指導された先生方に敬意を表します。このような伝統と実績を継承しつつ、更なる発展に向けて学生とともに、教職員が一丸となって取り組んでまいりたいと思っています。皆様の一層のご支援・ご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

# 公立に強い「作陽ブランド」の躍進

子ども教育学部長
**高橋香代**（たかはし　かよ）

平成 20 年度に新設された子ども教育学部も、今年の 3 月には 5 期生が卒業しました。右の図を見ていただければわかるように、3 期生からは小学校・特別支援学校教諭や、幼稚園教諭・保育士や福祉施設など子ども教育への専門職に就職した卒業生が、約 8 割となっています。とくに最近は、公立学校や公立保育園・公務員などへの現役合格者が急増していて、平成 27 年度は 34 名実に卒業生の 4 割が現役合格です。

公立に強い「作陽ブランド」躍進の秘密は、何と言っても学生たちのがんばりです。同級生が、仲間となって力を合わせ、「よく学ぶ」だけではなく、時々「よく遊ぶ」ことを通しても成長をしてきたからだと思います。この 5 期生は、大学代表としてはじめて「倉敷天領祭り」に参加した元気者です。

もちろん先生方の温かく一貫したご指導・ご支援がなければ、学生たちも十分な力を発揮することはできなかったと思います。

「念願は人格を決定す　継続は力なり」の学是を胸に、卒業生たちが歩むそれぞれの人生をこれからも応援していきたいと思います。作陽学園の皆様、同窓生の皆様のご支援をよろしくお願いします。

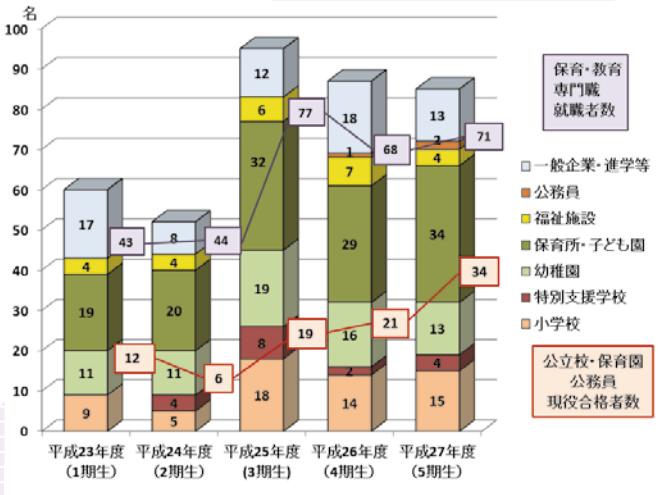



図　子ども教育学部就職先別卒業生数の推移

# 音楽にふれあい「五感を磨き」プロの世界に飛躍

作陽音楽短期大学
音楽学科長
菅付章宏（すがつきあきひろ）

皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のことと、心よりお慶び申し上げます。　平素から作陽音楽短期大学の教育活動にご理解と温かなご協力を賜りまして、心から感謝申しあげます。

昭和26年に作陽短期大学として開学以来、昭和38年に音楽科が新設され、作陽音楽大学が昭和41年に開学、その後くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学と名を変えましたが、作陽の精神は今も変わらず、昨年度からは幼児教育専攻が新設され音楽に関する豊かな感性と専門知識・技術・保育・教育に関する豊かな専門性を備えた保育士・幼稚園教員の養成をスタートさせております。「音楽の持つ力」は、感性豊かに人を成長させてくれます。人にとって五感の成長、発達はかかせないものです。本学に併設のくらしき作陽大学は今年50周年を迎え、「音」「食」「子」の各学部のますますの発展が期待されます。3つの学部と短大では人にとって大切な五感を自然な形で育むことが可能です。

作陽音楽短期大学は今年も58名の新入生を迎え、音楽専攻・幼児教育専攻共に良き社会人を育成することを目的とし、地域社会に貢献できる良き音楽人を育成するため音楽の広範な基礎力と人間性を磨き日々の学生生活がより充実し学生の心に寄り添うそして学生達の夢が叶えられる教員集団を目指しています。

今年9月22日には短期大学主催で行われますデザミ・ド・ミュジク＆吹奏楽・オーケストラ演奏会を開催いたします。ステージには作陽にしかできない「音楽の心」を学生・教職員一体となってのイベント計画も進行中です。

新たな転換点を迎え作陽音楽短期大学として、学生と教職員がエネルギーと英知を出し合い共に歩み成長したいと願っています。これからも卒業生ならびに学園関係者の皆様の一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

# 明るく、やさしく、たくましい作陽っ子を目指して

くらしき作陽大学
附属認定こども園
副園長
妹島三絵（せじまみえ）

園庭の木々が緑に茂り、近くでウグイスやホトトギスが楽しそうに鳴いています。草木が茂る森の園庭では、子どもたちが元気いっぱい走り回り、生き生きと遊んでいます。

くらしき作陽大学附属認定こども園は、平成25年4月に附属幼稚園として開園し、平成27年4月に幼保連携型認定こども園へ移行致しました。園は開園4年目を迎え、今年度は全園児136名でスタートする事が出来、毎日賑やかな声が聞こえてきます。

また、今年3月17日には、第1回卒園式を挙行し、当園初めての卒園児1期生33名がそれぞれの小学校へ巣立って行きました。これもひとえに、いつも温かく見守り、ご指導ご助力くださいます多くの方々のお陰と、心から感謝申し上げます。そして、私たちをいつも静かに優しく微笑んでお守りお導きくださいます御仏様のお陰と、日々感謝でございます。毎朝、子どもたちは朝の会で遊戯室に集い、御仏壇の前に並んで、優しいお顔の観音様に手を合わせ、学園の学是である「念願は人格を決定す　継続は力なり。いつも見守ってくださりありがとうございます。今日も一日元気に遊びます。」と全員で唱和し、感謝の心で一日が始まります。

こども園では、0歳から5歳児までの乳幼児たちが、それぞれの月齢・年齢に合わせて伸び伸びと活動し、遊び、学び、豊かな自然を活かした保育・教育を受けながら安心して過ごしています。子ども達にとって遊びは学びであり、人間形成の基礎を身につけながら生きる力を育てていけるよう、子ども達が自分の中にある豊かな創造性を引き出して遊べるように遊びの環境を整え、準備し、子ども達と一緒に飼育や栽培をして動植物の変化や成長、美しさや不思議さに子ども達が気付けるようにしています。

さらに今年度も、3・4・5歳児の正課授業で、ヴァイオリン、英語、茶華道、サッカー、歌唱指導、鍵盤ハーモニカの音楽指導、硬筆をご指導いただき、決して小学校の前倒し教育ではなく、豊かな感性と健全な体を育てるために、本物の音に触れ、五感を働かせながら様々な実体験をとおして学び成長していけるよう保育・教育して参ります。

## 新校長挨拶『唯一無二の存在たれ』

校長　野村雅之

平成元年、私は教員として作陽高校に赴任しました。作陽学園に勤務して28年目になります。平成の時代を作陽とともに歩んできました。

その間に日本も大きく変化しました。平成に入りすぐに高度経済成長期の延長にあったバブル経済が崩壊し、現在では終身雇用をベースとした日本の雇用制度も大きく変化してきています。日常生活においては、携帯電話やインターネットが普及し、昭和の時代では考えられなかった情報の超スピード化時代となりました。近年では日本国内で数度にわたる大震災が発生し、その地域の人々の生活を大きく変えるとともに我々にも大きな影響を与えました。世界情勢に目を向けてみれば、テロ行為が多発するなど国際的な緊張が高まっている状態が続き、日本の進む方向性が問われる状態になっています。そういう現代での私学を取り巻く環境を考えてみると、人口減・少子高齢化や地域間格差と日本が抱えている大問題に直面しています。

この予測不可能で価値観が多様化している世の中においてこそ、普遍的に求めていかなければならないものは人間性の向上です。これは特別なことをしなくても日々の生活の中で鍛えられていくことができると考えています。自分のやるべきことを当たり前にする凡事徹底と自分の夢を実現することを徹底的に追求する姿勢を持ち続けることが大切です。それを継続することで、人としての幅と深みができると思います。作陽高校に関わるすべての人が、それぞれの立場、各分野で光り輝くよう自分自身を磨き続けてほしいと思います。

作陽高校のコース編成や学校行事、様々な取り組みはこの思いをベースとしてプログラムされています。作陽高校で3年間学ぶことで、自分の存在を否定的にとらえるのではなく、自分自身が「世のため人のため」に存在しているということを実感させたいと思います。自分の存在価値を高め、それに気づき、それを自信に変え、これからの時代をたくましく中心的に生きていく唯一無二の存在になってもらいたいと日々念願しています。

## 『自分の心をしっかりと見つめる』　教頭　神田寿則

現在の社会は物や情報の氾濫、金銭至上主義など混沌とした時代になっています。生徒には物の豊かさでなく、心豊かな人になってもらいたいと思います。また、時代の流れに身を任せるのではなく、一度しかない人生悔いを残さぬように。ブッダ曰く「生きていく上で最も大切なことは、自分の心をしっかりと見つめること」である。だから、作陽高校での３年間しっかり自分を見つめ、生きる力を身につけてもらいたいと思います。そのために、私たち教職員は全力を尽くします。１年間よろしくお願い致します。

平成 28 年度の役職および部長、学年主任を紹介します。

事務長
田村 暲子

校長補佐
中山　勇

教務部長兼
３学年主任

松本 賢治

涉外部長

藤井 崇広

進路指導部長

杉本 哲也

生活指導部長

川野 一道

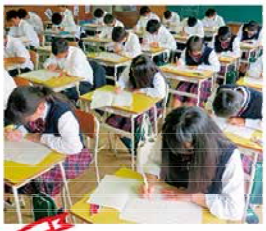
２学年主任

戸田 陽一

１学年主任

釈野 昌稔

## 『作陽教育の力』“おもいっきり学ぼう! 活躍しよう! 応援し合おう!”



基礎学力 日々の授業

進学の力 補習の充実

部活の力 祝全国優勝

行事の力 青春親友感動

団結の力 作陽ファミリー

Pick-up Topics

## 『将来に差がつくワンランク上の充実感と満足度』

### ■「作陽に決めた場合」魅力のあるカリキュラム

親身で丁寧な授業(基礎~応用)

進路説明会 進学・就職講演会

ICT教育で個別サポート(Classi)

水曜日１日実習(フードデザイン)

水曜日１日実習(こども保育)

本格的な音楽教育(演奏会・ライブ)

### ■「作陽で良かった理由」夢を叶えて卒業できる進路決定

| 国公立大学 | |
|---|---|
| 岡　山 | 7 |
| 東京工業 | 1 |
| 大　阪 | 2 |
| 筑　波 | 3 |
| 東京海洋 | 1 |
| 横浜国立 | 1 |
| 大阪府立 | 1 |
| 大阪教育 | 7 |
| 神戸市外大 | 1 |
| 広　島 | 1 |
| 鳥取(医) | 1 |
| 鳥　取 | 4 |
| 香　川 | 2 |
| 高　知 | 6 |
| 島　根 | 2 |
| 県立広島 | 1 |
| 岡山県立 | 2 |
| 防衛大学校 | 10 |
| 合　計 | 71名 |

| 私　立　大　学 | | | |
|---|---|---|---|
| 慶應義塾 | 2 | 同志社 | 6 |
| 早稲田 | 1 | 立命館 | 9 |
| 明治 | 6 | 関西学院 | 13 |
| ICU | 1 | 関　西 | 20 |
| 明治学院 | 1 | 関西外大 | 11 |
| 中　央 | 3 | 京都産業 | 31 |
| 青山学院 | 4 | 近　畿 | 14 |
| 日　本 | 8 | 甲　南 | 18 |
| 東　洋 | 6 | 龍　谷 | 16 |
| 駒　澤 | 8 | 京都女子 | 2 |
| 専　修 | 17 | 大阪経済 | 16 |
| 大東文化 | 3 | 佛　教 | 15 |
| 東　海 | 7 | 神戸学院 | 20 |
| 拓　殖 | 1 | 帝塚山 | 1 |
| 亜細亜 | 1 | ノートルダム清心 | 6 |
| 帝　京 | 7 | 大阪体育 | 6 |
| 国士舘 | 14 | 徳島文理 | 9 |
| 日本体育 | 3 | くらしき作陽 | 40 |
| 合　計 | | | 941名 |

（過去7年間の主な合格実績）

## ■新任教員のご紹介（大学・短期大学・附属認定こども園）

音楽学部
専任准教授 **三宅康一**

今までの教育現場での経験を活かして、将来、教師として活躍したいと考えている学生の皆さんを、全力でバックアップしたいと思っています。

子ども教育学部
専任教授 **平松由美子**

幼稚園での長年の経験を生かして、現場の様子や子どもたちの姿、そして幼児教育の重要性などをお伝えしたいと思います。一緒に学んでいきましょう。

子ども教育学部
専任講師 **鈴木瞬**

教職論や教育社会学を担当します。教師や保育者を目指すみなさん！　教育論や子ども論を語り合いながら、一緒に豊かな学びの場を創っていきましょう。

子ども教育学部
専任講師 **佐藤大介**

主に教養英語や外国語活動を担当します。学生のコミュニケーション能力や国際感覚を向上させられるよう、しっかりと指導していきたいと思います。

短期大学
専任講師 **蜂谷幸子**

保育園の現場で働いてきた経験を生かして、実践の中で一つでも多くのことを伝え、保育士を目指す人を応援したいと思います。よろしくお願いします。

こども園
保育教諭 **田淵弘子**

今年の４月から認定こども園で０歳児を担当しています。明るく楽しく元気よくをモットーに保護者の方の子育てのお手伝いができるようがんばりたいと思います。

こども園
保育教諭 **三宅裕子**

この自然いっぱいの園で子どもたちがたくさん豊かな経験ができるように頑張りたいです。何より子ども達と毎日楽しく過ごしていきたいです。よろしくお願いします。

## ■新任教員のご紹介（高校）

英語科
常勤講師 **川田崇**

まだまだ不慣れですが、素晴らしい可能性を持つ生徒たちの精神面、学習面両方での一助となり、生徒たちと共に、ゆっくり、しっかり成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。

理科
常勤講師 **髙橋萌**

新米教員で慣れない部分もありますが、身近なものから学べることを生徒と共に学び、充実した学校生活を送れるよう、精一杯努力していきたいと思います。
よろしくお願いいたします。

## ■退職・退任された教員のご紹介（大学・短期大学・高校）

**大学**

| | |
|---|---|
| 音楽学部 | 森　悠子 |
| 食文化学部 | 原田節也 |
| 食文化学部 | 塩見慎次郎 |
| 食文化学部 | 塩谷育子 |
| 食文化学部 | 國本あゆみ |
| 子ども教育学部 | 福井敏雄 |
| 子ども教育学部 | 有本　章 |
| 子ども教育学部 | 久山孝美 |
| 子ども教育学部 | 吉岡由佳 |

**短期大学**

| | |
|---|---|
| 音楽学科 | 上甲廣文 |
| 音楽学科 | 浮田範子 |

**高校**

| | |
|---|---|
| 校長 | 松野英雄 |
| 国語科 | 和田北斗 |
| 理科 | 長瀬優志 |

大変お世話になりました。

# 鶴声会だより

## 鶴声会近況報告

鶴声会会長　井端　豊実

この度の熊本県熊本地方の地震により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今年も鶴声会会員の皆様に、会の運営に多大なご尽力をいただき、各地の同窓会支部にて活発な活動が行われています。

平成27年11月には愛媛県支部総会が開催され、くらしき作陽大学より長瀬敏和先生と在学生を招聘して特別演奏会をお聴きいただきました。

平成28年３月には毎年開催している鹿児島県支部スプリングコンサート。在学生と卒業生が同じステージで演奏し、卒業生が在学生の成長している姿を暖かく見守っておられることに感銘いたしました。

平成28年５月には関西支部総会が姫路にて開催され、13期生との合同懇親会となり関西に各地から駆けつけ、新たな親睦を深められました。

平成28年８月には高知県支部演奏会も企画されています。昨年度40周年を迎えられ今年度も充実した各楽器演奏と合唱をお聞かせいただけます。

同窓会と大学と地域の吹奏楽連盟で連携して実施している吹奏楽クリニックも５月８日高知県、６月18日香川県で実施し、それぞれ700名以上の中・高校生等に受講いただき各地域の文化発展にも寄与しています。

今年度は大学創立50周年の大きな節目であり、同窓会総会開催年でもあります。近日中にご案内を発送いたします。みなさまにお会いできることを楽しみにしております。

# 翠会だより

## 翠会会員の皆さま、こんにちは！

翠会会長　元吉　恵子

翠会会員の皆様におかれましては、日頃より多大なるご支援とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年の 11 月 7 日（土）に開催いたしました、翠会総会並びに懇親会では県内はもとより遠くは沖縄県からの参加もあり、盛会のうちに無事終了することができました。また、松田英毅学長をはじめお忙しい中ご出席くださいました先生方には、心より御礼申し上げます。

尚、隔年で開催しております次回の翠会総会並びに懇親会は、アンケートで多くの会員の皆さまから頂きました「是非、津山の地での開催を」との声にお応えして、「平成 29 年 11 月 18 日（土）に津山鶴山ホテル」にて行うことに決定いたしました。次回もまた多くの方々にご参加いただけますよう企画を検討しておりますので、楽しみにお待ちください。引き続き翠会では、卒業生相互のネットワーク支援として、同期会に対して助成や短大音楽学科の在学生への支援・協力を行って行きたいと考えております。

# 作陽高校同窓会だより

## 同窓会と津山ノスタルジー

高校同窓会副会長　山下　亨

母校の恩師、日並明先生が昨年秋に島田照子先生が今年春に他界されました。お二人は、松田藤子校長先生を支え男女共学の実施や高校同窓会の発展に尽力されました。藤子先生は教え子との写真を大切に保管されていました。生前お尋ねした島田先生のお話では、右の写真は 76 年前の第一回同窓会のもので、学園創立 10 周年の昭和 15 年に大谷校舎前庭で撮影されています（右端の立姿が島田先生）。

さて、本年度の同窓会総会（懇親会）は８月 13 日（土）11:00 から津山国際ホテルにて開催されます。年幹事は平成 7 年 3 月の卒業生です。また、卒業 50 周年を祝うのは昨年度の 1 期生に続き昭和 42 年 3 月卒業の方々（2 期生）です。恩師をお呼びし母なる学校での思い出を語り合っていただきたいと思います。

支部活動も活発化しています。関西支部（支部長・下谷義友）では昨年 11 月 14 日（土）に、関東支部（同・石堂良男）では同年 11 月 22 日（日）にそれぞれ開催されたほか、真庭・新見支部（同・須田宗徳）でも今年 3 月 13 日（日）に開催されました。

ところで、旧作陽音楽大学の前庭にあった大噴水は、男女共学 1 期生が卒業記念に造ったものでした。玉置俊作会長のお話では、当時の高校三年生全員が多胡先生や大町先生の指揮により吉井川から何度も石を運んで卒業前に完成させたと聞いております（「作陽音大 30 周年記念誌」参照）。大学は倉敷に移り創立 50 周年を迎えています。作陽学園創立 90 周年まであと 4 年です。作陽の津山ノスタルジーは大きくふくらみます。

第一回同窓会記念撮影

## くらしき作陽大学／作陽音楽短期大学

# 平成29年度入学試験より「Web出願」に変わります！

「Web出願」とは、願書を取り寄せなくても、インターネットにつながっているお手持ちのパソコン、タブレット端末、スマートフォンから本学の公式ホームページにアクセスし、出願登録ができる出願方法です。

お近くのコンビニから“入学検定料の納入が24時間可能に！”

※銀行でのお支払いはできませんのでご注意ください。

**Q インターネットで出願が完了するのですか?**

**A** それだけでは完了しません。本学の「インターネット出願」は、インターネットで出願書類を作成できるシステムです。インターネット上で作成・印刷した志願票と出願書類を郵送し、本学で受理されて初めて正式な出願となります。

**Q プリンターがない場合はどうしたらよいですか?**

**A** 一部のコンビニエンスストアでは、メディアリーダーを備えたコピー機があります。お手持ちのメディアにPDFファイルを入れて、コンビニエンスストア店頭へお持ちください。

ご不明な点がございましたら、くらしき作陽大学･作陽音楽短期大学 入試広報室(0120-911-394)までお問い合わせください。

# 作陽アンバサダー(学生広報組織)が誕生！

学生目線で、気になる大学生活・授業の中身・在学生の夢をリアルに伝え隊(たい)！

日々大学の公式twitterで情報をお届けしています。一度観に来てください(^O^)

今後のわたしたちの活動にご注目ください。

## くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の教育目的

**■くらしき作陽大学の目的**

本学は教育基本法および学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎の上に 4 年の音楽、食文化又は子ども教育に関する大学教育を施し、良き社会人を育成することを目的とし、宗教的情操教育を施して信念と道義心とを涵養し、以て大学教育の普及と地方文化の向上を図ることを使命とする。

**音楽学部の目的**

**・音楽学部の教育研究上の目的**

音楽学部は、建学の精神に基づく人間教育のもとに、音楽に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、国際的な音楽文化の教育研究拠点として地域に貢献することを目的とする。

**・音楽学科の教育研究上の目的**

国際的な音楽文化の教育研究を通して、音楽に関する豊かな感性と高度な技術とともに、社会性ある音楽家を養成する。

**食文化学部の目的**

**・食文化学部の教育研究上の目的**

食文化学部は、建学の精神に基づく人間教育のもとに、食に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、食文化の教育研究拠点として地域に貢献することを目的とする。

**・現代食文化学科の教育研究上の目的**

食に関する教育研究を通して、食を総合的に学修した食文化に強い心豊かな栄養士ならびに教員等を養成する。

**・栄養学科の教育研究上の目的**

食と健康に関する教育研究を通して、健全な未来社会を築くために貢献できる心豊かな管理栄養士を養成する。

**子ども教育学部の目的**

**・子ども教育学部の教育研究上の目的**

子ども教育学部は、建学の精神に基づく人間教育のもとに、保育と教育及び子育て支援に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、保育と教育及び子育て支援の教育研究拠点として地域に貢献することを目的とする。

**・子ども教育学科の教育研究上の目的**

保育と教育、子育て支援に関する教育研究を通して、現代の保育・教育現場に求められる高度な専門性と実践力を持った、心豊かな保育・教育等に従事する人材を養成する。

**大学院音楽研究科の目的**

広い視野に立って音楽に関する清深な学識を授け、地域の音楽文化の向上に貢献することのできる高度な専門性を有する人材を養成することを目的とする。

**■作陽音楽短期大学の目的**

本学は教育基本法および学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎の上に、2 年の音楽に関する大学教育を施し、良き社会人を育成することを目的とし、宗教的情操教育を施して信念と道義心とを涵養し、以て大学教育の普及と地方文化の向上を図ることを使命とする。

**・音楽学科の教育研究上の目的**

音楽学科は、建学の精神に基づく人間教育のもと、音楽に関する豊かな感性と専門性をもって地域の文化や教育の向上のため心豊かに生きいきと生きる職業人を養成する。

**・音楽専攻の教育研究上の目的**

音楽文化の教育研究を通して、音楽に関する豊かな感性と高い専門性をもつ心豊かな人材を養成する。

**・幼児教育専攻の教育研究上の目的**

幼児教育と音楽文化の教育研究を通して、音楽に関する豊かな感性と専門性をもつ心豊かな保育・幼児教育に従事する人材を養成する。

# 平成27年度決算について

平成27年度決算の概要は以下のとおりです。この決算は、5月24日に行なわれた理事会・評議員会の承認を受けたものです。なお、平成27年度より学校会計基準が改正され、この改正に従い計算書類を作成しています。

## 資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することによって当該年度の収入と支出の内容を明らかにし支払資金の顛末を表すものです。

学生生徒等納付金収入は、入学金を含む授業料などの学費収入です。

資産売却収入は、固定資産等の売却による収入をいい、不動産、有価証券などの売却による収入が代表的なものとしてあげられます。

雑収入とは、学校法人の事業活動収入のうち、学生生徒等納付金から受取利息・配当金収入までのいずれにも該当しない事業活動収入をいいます。

前受金収入は、翌年度以降の諸活動に対応する資金を受け入れた場合に生ずる科目で、一般的には翌年度入学生にかかる学生生徒等納付金収入などが代表的なものです。

前期末未収入金収入、貸付金回収収入、引当特定資産からの繰入収入などです。

資金収入調整勘定は、期末における未収入金の計上、また前年度で前受金とした当該年度に属する学費収入等を学生生徒等納付金収入として計上するための減算科目です。

【収入の部】　（単位：百万円）

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 学生生徒等納付金収入 | 2,125 | 2,116 | 9 |
| 手数料収入 | 34 | 32 | 2 |
| 寄付金収入 | 101 | 105 | △4 |
| 補助金収入 | 493 | 544 | △51 |
| 資産売却収入 | 300 | 200 | 100 |
| 付随事業・収益事業収入 | 81 | 79 | 2 |
| 受取利息・配当金収入 | 31 | 34 | △3 |
| 雑収入 | 55 | 58 | △3 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 318 | 383 | △65 |
| その他の収入 | 178 | 764 | △586 |
| 資金収入調整勘定 | △398 | △432 | 34 |
| 前年度繰越支払資金 | 4,492 | 4,492 | 0 |
| 収入の部合計 | 7,810 | 8,375 | △565 |

教育研究経費支出とは、教育研究に直接摘要する経費のことをいい、光熱水費をはじめ研究費、奨学費、入学試験にかかる経費もこの中に含まれます。

管理経費支出は、教育研究活動に間接的に要する経費で、一般経費のほかに役員会、法人業務、教職員の福利厚生費、学生募集経費、食堂の経費などが加わります。

施設関係支出とは、土地、建物、構築物といった固定資産取得のための支出です。

設備関係支出とは、教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書、車両といった固定資産取得のための支出です。

前年度中の活動に係る支出のうち、当該年度に支払われた前期未未払金支払支出の他、前払金支払支出などがあります。

資金支出調整勘定とは、当該年度中に支払うべき支出であるが、支払いが次年度になる期末未払金や、前年度に支払いを済ませた当該年度の支出を減算することにより支出額を調整するものです。

【支出の部】　（単位：百万円）

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 人件費支出 | 1,498 | 1,456 | 42 |
| 教育研究経費支出 | 552 | 470 | 82 |
| 管理経費支出 | 207 | 187 | 20 |
| 借入金利息支出 | 0 | 0 | 0 |
| 借入金返済支出 | 0 | 0 | 0 |
| 施設関係支出 | 18 | 4 | 14 |
| 設備関係支出 | 41 | 46 | △5 |
| 資産運用支出 | 0 | 1,600 | △1,600 |
| その他の支出 | 124 | 135 | △11 |
| ［予備費］ | 20 | 0 | 20 |
| 資金支出調整勘定 | △80 | △90 | 10 |
| 翌年度繰越支払資金 | 5,431 | 4,568 | 863 |
| 支出の部合計 | 7,811 | 8,376 | △565 |

**≪資金収支の概要≫**

収入の大部分を占める学生生徒等納付金は予算比900万円減収の21億1,600万円、寄付金収入は予算比400万円増収の1億500万円、補助金収入は予算比5,100万円増収の5億4,400万円となりました。

一方、主な支出については人件費支出が予算比4,200万円減額の14億5,600万円、教育研究費支出が予算比8,200万円減額の4億7,000万円、管理経費支出が2,000万円減額の1億8,700万円、施設関係支出が予算比1,400万円減額の400万円、設備関係支出が予算比500万円増額の4,600万円となりました。

## 事業活動収支計算書

従前の「消費収支計算書」の名称が今回の改正で「事業活動収支計算書」に変更されました。

「事業活動収支計算書」では、経常的な収支のバランスと臨時的な収支のバランスを区分して表示します。

（単位：百万円）

| | | 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 2,125 | 2,116 | 9 |
| | | 手数料 | 34 | 32 | 2 |
| | | 寄付金 | 94 | 104 | △10 |
| | | 経常費等補助金 | 493 | 534 | △41 |
| | | 付随事業収入 | 81 | 79 | 2 |
| | | 雑収入 | 56 | 58 | △2 |
| | | 教育活動収入計 | 2,883 | 2,923 | △40 |
| | 事業活動支出の部 | 人件費 | 1,517 | 1,475 | 42 |
| | | 教員人件費 | 1,028 | 1,003 | 25 |
| | | 職員人件費 | 440 | 414 | 26 |
| | | その他人件費 | 49 | 58 | △9 |
| | | 教育研究経費 | 815 | 729 | 86 |
| | | 管理経費 | 243 | 220 | 23 |
| | | 徴収不能額等 | 4 | 1 | 3 |
| | | 教育活動支出計 | 2,579 | 2,426 | 153 |
| | 教育活動収支差額 | | 304 | 497 | △193 |
| | 教育活動外収支 | 受取利息・配当金 | 31 | 25 | 6 |
| | | その他教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動外収入計 | 31 | 25 | 6 |
| | | 借入金等利息 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動外支出計 | 0 | 0 | 0 |
| | 教育活動外収支差額 | | 31 | 25 | 5 |
| 経常収支差額 | | | 336 | 522 | △186 |
| 特別収支 | 事業活動外収入 | 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の特別収入 | 8 | 13 | △5 |
| | | 特別収入計 | 8 | 13 | △5 |
| | 事業活動外支出 | 資産処分差額 | 0 | 2 | △2 |
| | | その他の特別支出 | 0 | 2 | △2 |
| | | 特別支出計 | 0 | 4 | △4 |
| 特別収支差額 | | | 8 | 9 | △1 |
| 〔予備費〕 | | | 20 | | 20 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | | 324 | 531 | △207 |
| 基本金組入額合計 | | | △59 | △35 | △24 |
| 当年度収支差額 | | | 264 | 496 | △232 |
| 前年度繰越消費収支差額 | | | 333 | 333 | 0 |
| 翌年度繰越消費収支差額 | | | 598 | 829 | △231 |
| （参考） | | | | | |
| 事業活動収入計 | | | 2,922 | 2,961 | △39 |
| 事業活動支出計 | | | 2,599 | 2,430 | 169 |

学生生徒等納付金とは、授業料、入学金、教育運営費、実験実習費等の学費収入です。

手数料は、入学検定料、試験料、証明手数料とセンター試験の実施手数料が主なものです。

寄付金には、資金収入の寄付金だけではなく、現物寄付金が含まれます。

補助金は、国庫補助金、地方公共団体補助金が中心です。

人件費は、教員人件費、職員人件費、退職給与引当金繰入額などです。

教育研究経費は、教育研究活動に必要な消耗品、旅費交通費、光熱水費などのすべての経費です。

管理経費は、教育研究の諸活動に間接的に必要な消耗品等の経費です。

教育活動収支差額は教育研究活動に必要な人件費、教育研究経費及び管理経費が教育研究活動によって得られた事業活動収入によって回収されていることを示すものです。

教育活動外収支差額は各種特定資産の運用により生じる特定資産運用収入や、これ以外の預金、貸付金等に係る、その他の受取利息・配当金などで財務活動の収支バランスを示します。

特別収支差額とは臨時的な事業活動に係る収支のことで、具体的には、特別収入としては、資産売却差額、施設設備寄付金、現物寄付、施設設備補助金、過年度修正額などが該当します。また、特別支出としては、資産処分差額、災害損失、過年度修正額などが該当し、臨時的な収支バランスを示します。

学校が教育研究活動を行なうためには、校地、校舎、機器備品、図書などの資産を持ち、維持する必要があり、学校会計では、これらの教育研究活動に必要な資産を取得するために、事業活動収入から充てた金額をもって、維持すべき資産等の金額としています。これが基本金組入額と呼ばれているものです。

**≪事業活動収支の概要≫**

事業活動の大部分を占める学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等の教育活動収入の合計が予算に対して4,000万円の増収となりました。また、人件費、教育研究経費、管理経費等の教育活動支出の合計は予算に対して1億5,300万円の減額となりました。よって教育活動収支差額は4億9,700万円の収入超過となりました。

事業活動全体では事業活動収入が29億6,100万円、事業活動支出が24億3,000万円となり基本金組入前収支差額は5億3,100万円の収入超過となりました。また、当年度収支差額は4億9,600万円の収入超過となりました。

## 貸借対照表

期末（年度末）における資産・負債・基本金および収支差額を把握し、財務状態の健全性を表すものです。

【資産の部】　（単位：百万円）

| 科目 | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 固定資産 | 19,661 | 19,119 | 542 |
| 有形固定資産 | 15,640 | 15,881 | △241 |
| 土地 | 5,733 | 5,733 | 0 |
| 建物 | 8,988 | 9,202 | △214 |
| 構築物 | 83 | 95 | △12 |
| 教育研究用機器備品 | 109 | 118 | △9 |
| その他の機器備品 | 19 | 19 | 0 |
| 図書 | 704 | 694 | 10 |
| 車輌 | 3 | 4 | △1 |
| 建設仮勘定 | 0 | 17 | △17 |
| 特定資産 | 1,926 | 1,927 | △1 |
| その他の固定資産 | 2,095 | 1,311 | 784 |
| 流動資産 | 4,645 | 4,656 | △11 |
| 資産の部合計 | 24,305 | 23,775 | 530 |

【負債の部】　（単位：百万円）

| 科目 | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 固定負債 | 638 | 624 | 14 |
| 流動負債 | 482 | 496 | △14 |
| 負債の部合計 | 1,120 | 1,121 | △1 |

【純資産の部】　（単位：百万円）

| 科目 | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 第1号基本金 | 21,964 | 21,929 | 35 |
| 第3号基本金 | 167 | 167 | 0 |
| 第4号基本金 | 225 | 225 | 0 |
| 繰越収支差額 | 829 | 333 | 496 |
| 翌年度繰越収支差額 | 829 | 333 | 496 |
| 純資産の部合計 | 23,186 | 22,654 | 531 |

【負債の部、純資産の部合計】　（単位：百万円）

| 科目 | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 負債の部、純資産の部合計 | 24,305 | 23,775 | 530 |

**≪貸借対照表の概要≫**

（資産について）建物、構築物、教育研究用機器備品の減少の主因は減価償却によるものです。
その他の固定資産の増加は有価証券の増加によるものです。
流動資産の減少は未収入金等が減少したことによるものです。

（負債について）固定負債の増加は退職給与引当金が増加したことによるものです。
流動負債の減少は前受金、預かり金が減少したことによるものです。

（純資産について）本年度は翌年度の繰越収支差額が8億2,900万円の収入超過となったこと等により純資産は231億8,600万円となりました。

※ 表示された数値以下の端数は個々に四捨五入してあるので、合計欄の数値と一致しない場合があります。

# 演奏会・公開講座等のご案内

## 7月 JULY

**13日(水)** 〈開演〉18:30
モスクワ音楽院特別演奏コース前期学内公開演奏会Ⅳ
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学生による演奏会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**18日(月・祝)** 〈開演〉18:45
室内楽IA・IIA(ピアノ)研究発表会「Piano Duo Summer Concert」
■室内楽(ピアノ)履修生による、2台ピアノ・連弾等の研究発表会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**19日(火)** 〈開演〉19:00
弦楽合奏・室内楽(弦楽器)研究発表会
■弦楽合奏・室内楽(弦楽器)履修生による研究発表会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**25日(月)** 〈開演〉18:45
オペラ演習 前期研究発表会
■オペラ演習履修生によるオペラ研究発表会
〈学部〉W.A.モーツァルト/「コジ・ファン・トゥッテ」より
〈大学院〉R.レオンカヴァッロ/「道化師」より
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**28日(木)** 〈開演〉18:45
室内楽IB・IIB研究発表会「MILESTONE CONCERT」ver.夏
■室内楽履修生によるフルート、2台ピアノ、連弾等の研究発表会
■会場：1号館125室　■入場料：無料

## 8月 AUGUST

**5日(金)** 〈開演〉18:30
ヴォーカルサマーコンサート
■声楽専修生による歌曲・オペラ・アリア等の演奏会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**8日(月)** 〈開演〉13:30
大学院サマーコンサートPart1
■大学院生による演奏会
M.ラヴェル/ピアノ協奏曲ト長調、R.シュトラウス/ホルン協奏曲第1番変ホ長調　他
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**21日(日)** 〈開演〉14:00
大学院サマーコンサートPart2 夜空とオペラのメロディ
～マダムバタフライハイライト～
■大学院生による演奏会　オペラ「マダムバタフライ」よりハイライト
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

## 9月 SEPTEMBER

**20日(火)** 〈開演〉18:45
デニス・ブリアコフ(フルート)公開レッスン&ミニコンサート
■デニス・ブリアコフ氏による公開レッスン&ミニコンサート
■会場：聖徳殿　■入場料：未定

**22日(木・祝)** 〈開演〉14:30
作陽音楽短期大学演奏会
■作陽音楽短期大学在学生・教員によるアンサンブル、吹奏楽等の演奏会
■会場：藤花楽堂　■入場料：500円

**24日(土)** 〈開演〉13:00
くらしき作陽大学 創立50周年記念 公開講座
科学技術文明社会を「生きる」
■「新たな看取り文化の創造を考える」(石飛幸三医師)
■会場：聖徳殿　■受講料：2,000円/要事前予約

## 10月 OCTOBER

**5日(水)** 〈開演〉18:45
平成28年度 特待生コンサート(1、2年生)
■特待生(1、2年生)によるコンサート
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**12日(水)** 〈開演〉18:45
平成28年度 特待生コンサート(3、4年生)&コンクール入賞者コンサート
■特待生(3、4年生)、コンクール入賞者によるコンサート
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**19日(水)** 〈開演〉19:00
作陽弦楽合奏団 第5回定期演奏会
■作陽弦楽合奏団による演奏会
A.ヴィヴァルディ/フルートコンツェルト3番「五色ひわ」
W.A.モーツァルト/ディヴェルティメント k.136　他
■会場：聖徳殿　■入場料：500円

**25日(火)** 〈開演〉19:00
第33回 作陽Music Gallery
■電子オルガンを中心とする、ソロ・アンサンブルの演奏会
■会場：1号館125室　■入場料：500円

**28日(金)** 〈開演〉19:00
2016作陽ファカルティーコンサートⅠ　森圭吾 フルートリサイタル
■森圭吾教授によるフルートリサイタル
A.ジョリヴェ/リノスの歌、C.P.E バッハ/TRIO　他
■会場：聖徳殿　■入場料：一般2,500円(当日3,000円)、高校生以下無料

## 11月 NOVEMBER

**6日(日)** 〈開演〉14:00
第7回作陽JWAこども吹奏楽団定期演奏会
■作陽JWAこども吹奏楽団による定期演奏会
■会場：藤花楽堂　■入場料：300円 (当日500円)

**13日(日)** 〈開演〉14:00
演奏系吹奏楽研究発表会
■演奏系吹奏楽履修生による吹奏楽研究発表会
■会場：藤花楽堂　■入場料：500円

**16日(水)** 〈開演〉18:30
モスクワ音楽院特別演奏コース後期学内公開演奏会Ⅰ
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学生による演奏会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**23日(水・祝)** 〈開演〉15:00
第29回 日本伝統芸能・邦楽演奏会　さくよう歌舞座
■箏・三絃・尺八による箏曲演奏会
■会場：藤花楽堂　■入場料：500円

**27日(日)** 〈開演〉14:30
教育系吹奏楽および
マーチングバンドDrum&Brass Corps "MUSICA"
研究発表会
■教育系吹奏楽履修生による吹奏楽研究発表会および
マーチングバンド Drum&Brass Corps "MUSICA"による研究発表会
■会場：藤花楽堂　■入場料：500円

**28日(月)** 〈開演〉19:00
2016作陽ファカルティコンサートⅡ
土居里江 ピアノリサイタル
■土居里江准教授によるピアノソロリサイタル
■会場：聖徳殿　■入場料：一般2,500円(当日3,000円)、高校生以下無料

**30日(水)** 〈開演〉18:30
モスクワ音楽院特別演奏コース後期学内公開演奏会Ⅱ
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学生による演奏会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**くらしき作陽大学創立50周年記念公演　日本伝統芸能「狂言」**
演　者　野村万作(人間国宝)　野村萬斎　他
演　目　未定
開催日　平成28年10月17日(月)　　開　演　15：00
会　場　藤花楽堂
入場料　未定

## 12月 DECEMBER

**4日(日)** 〈開演〉14:30
第49回 作陽管弦楽団演奏会
■ブラームス/大学祝典序曲 ハ短調作品36
ブラームス/交響曲第2番 ニ長調作品73　他
■会場：藤花楽堂　■入場料：一般2,500円、学生1,000円、
高校生以下500円(当日各500円増)

**11日(日)** 〈開演〉14:00
室内楽(打楽器)研究発表会
第44回作陽パーカッショングループコンサート
■室内楽(打楽器)履修生による打楽器を中心とした、
打楽器アンサンブル曲の研究発表会
■会場：藤花楽堂　■入場料：500円(当日800円)

**20日(火)** 〈開演〉19:00
2016作陽ファカルティコンサートⅢ
長瀬敏和 サクソフォンリサイタル
■長瀬敏和教授によるサクソフォンリサイタル
■会場：聖徳殿　■入場料：一般2,500円(当日3,000円)、高校生以下無料

**21日(水)** 〈開演〉18:30
モスクワ音楽院特別演奏コース後期学内公開演奏会Ⅲ
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学生による演奏会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

## 1月 JANUARY

**10日(火)** 〈開演〉18:45
室内楽(金管)研究発表会
■室内楽(金管)履修生による研究発表会　P.デュカス/Fanfare "La Peri"　他
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**17日(火)** 〈開演〉19:00
倉敷みらい講座 音楽貢献実践A 成果発表会「ヤングホールコンサート」
■音楽貢献実践履修生による、ピアノソロ、2台ピアノ、連弾、
声楽、管楽器などによる多彩なプログラム
■会場：玉島市民交流センター 湊ホール　■入場料：無料

**18日(水)** 〈開演〉18:30
モスクワ音楽院特別演奏コース後期学内公開演奏会Ⅳ
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学生による演奏会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**19日(木)** 〈開演〉18:45
室内楽IB・IIB研究発表会「MILESTONE CONCERT」ver.冬
■室内楽履修生によるフルート、2台ピアノ、連弾等の研究発表会
■会場：1号館125室　■入場料：無料

**20日(金)** 〈開演〉18:45
第11回 音楽デザイン専修作品発表会「ミライへノトビラ」
■音楽デザイン専修生によるオリジナルミュージックビデオ作品発表会
■会場：藤花楽堂地下スタジオ　■入場料：無料

**22日(日)** 〈開演〉14:00
くらしき作陽大学ウインド・フィルハーモニー 特別演奏会
■宮川彬良氏 指揮による特別演奏会
■会場：藤花楽堂　■入場料：一般2,500円、学生1,000円、
高校生以下500円(当日各500円増)

**23日(月)** 〈開演〉18:45
室内楽IA・IIA(ピアノ)研究発表会「Piano Duo Winter Concert」
■室内楽(ピアノ)履修生による2台ピアノ、連弾等の研究発表会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**24日(火)** 〈開演〉18:45
室内楽(Sax)研究発表会
■室内楽(Sax)履修生による研究発表会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**25日(水)** 〈開演〉18:45
合唱・重唱・歌曲・オラトリオ演習研究発表会
■新実徳英/聞こえる　他
■会場：藤花楽堂　■入場料：無料

**27日(金)** 〈開演〉18:45
金管合奏研究発表会
■金管合奏履修生による研究発表会　P.スパーク/A tale as yet un told 他
■会場：藤花楽堂　■入場料：無料

**30日(月)** 〈開演〉19:00
2016作陽ファカルティコンサートⅣ
重利和徳 ピアノリサイタル
■重利和徳講師によるピアノリサイタル
■会場：聖徳殿　■入場料：一般2,500円(当日3,000円)、高校生以下無料

## 2月 FEBRUARY

**10日(金)** 〈開演〉未定
大学院ハーフリサイタル
■大学院生によるハーフリサイタル
■会場：藤花楽堂　■入場料：無料

**16日(木)** 〈開演〉18:30
室内楽(木管)研究発表会
■室内楽(木管)履修生による研究発表会
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**17日(金)** 〈開演〉19:00
2016作陽ファカルティコンサートV
ティモシー・カーター クラリネットリサイタル
～クラリネットマジックとモーツァルト～
■ティモシー・カーター講師によるクラリネットリサイタル
■会場：藤花楽堂　■入場料：一般2,500円(当日3,000円)、高校生以下無料

**18日(土)** 〈開演〉未定
大学院修了演奏会
■大学院生による修了演奏会
■会場：藤花楽堂　■入場料：無料

**19日(日)** 〈開演〉未定
大学院修了演奏会
■大学院生による修了演奏会
■会場：藤花楽堂　■入場料：無料

**19日(日)** 〈開演〉14:00
第14回 音楽のたね音楽会
■音楽療法専修生による、会場参加型の音楽会
■会場：1号館125室　■入場料：無料

## 3月 MARCH

**3日(金)** 〈開演〉18:30
オペラ演習 後期研究発表会(音楽学部)
■W.A.モーツァルト/「コジ・ファン・トゥッテ」より
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**4日(土)** 〈開演〉15:00
オペラ演習 後期研究発表会(大学院)
■R.レオンカヴァッロ/「道化師」より、團伊玖磨/「夕鶴」より　他
■会場：聖徳殿　■入場料：無料

**4日(土)** 〈開演〉未定
ピアノフェスティバル
■ピアノソロ、アンサンブルによる多彩なプログラム
■会場：1号館125室　■入場料：無料

**11日(土)** 〈開演〉未定
平成28年度 卒業・修了演奏会
■平成28年度に卒業・修了する優秀者による演奏会
■会場：藤花楽堂　■入場料：無料

**12日(日)** 〈開演〉未定
平成28年度 卒業・修了演奏会
■平成28年度に卒業・修了する優秀者による演奏会
■会場：藤花楽堂　■入場料：無料

《お問い合わせ先》
くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学
演奏芸術センター086-523-0822　FAX.086-436-0283
〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515　E-mail sakuyo.kikaku@ksu.ac.jp
http://www.ksu.ac.jp/　くらしき作陽大学　検索

メールマガジン配信開始！
くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の　QRコードで簡単登録！
演奏会・公開講座等の最新のイベント情報やお得な情報をいち早くお届けします。
SAKUYOメルマガ会員募集中
PCからはこちら！▶ https://j.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=sakuyokikaku

◎ 気になる施設の見学や体験授業で、大学の雰囲気を知るチャンス

# Open Campus 2016

要予約

**7/16[土] 8/27[土] 9/17[土]**

11:00～15:00(受付10:30～)　13:00～17:00(受付12:30～)

JR新倉敷駅北口より無料送迎バスを随時運行します。

◎ 音大入試の傾向と対策を指導〈対象:中学生以上〉

## 作陽音楽講習会

要予約　要参加費

夏期 7/23[土]・24[日]　秋期 9/18[日]・19[月・祝]　冬期 12/17[土]・18[日]

◎ 進学を考えている分野の授業・実習を体験できる〈対象:高校生〉

## オープンセミナー

要予約　[食文化学部 現代食文化学科／短大 幼児教育専攻]

夏期 7/23[土]　秋期 9/18[日]　冬期 12/17[土]

[会場]くらしき作陽大学／作陽音楽短期大学

資料請求お申し込みは

フリーアクセスで申し込む 0120-911-394

Eメールで申し込む nyushi.sakuyo@ksu.ac.jp

ホームページから申し込む　くらしき作陽大学　検索

# くらしき作陽大学　作陽音楽短期大学

## 2016 SAKUYO OPEN SCHOOL

友達と気軽に来てくださり！お楽しみ企画盛りだくさん★

| 第1回 | 第2回 | 第3回 |
|---|---|---|
| 7/30(土) 体験 | 10/23(日) 説明 | 11/23(祝) 準備 |

講習会・Live 6/18(土) 音楽

～清陵祭～　文化の部 9/2(金)　体育の部 9/8(木)

実施内容
★希望の講座を選択・授業体験　★作陽教育、コースの魅力を説明
★制服紹介・部活動紹介・見学　★入試問題対策講座・面接対策講座 e.t.c

一人ひとりの個性と可能性がキラリと輝く場所

## 岡山県作陽高等学校 SAKUYO High School

0868-23-2188
sakuyo@sakuyo-h.ed.jp
http://sakuyo-h.ed.jp

学園報に関するお問い合わせは
作陽学園事務局
学園報担当（企画係）
〒710-0292　岡山県倉敷市玉島長尾3515
tel 086-523-0822／fax 086-436-0283
Eメール sakuyo.kikaku@ksu.ac.jp